

佐久東部山地植物分布ニュース

池田 登志男

T. Ikeda: Some new information on the plant distribution to the east mountain area in Saku District, Nagano Prefecture

1. はじめに

佐久東部山地は、関東地域である群馬、埼玉、山梨の三県と境を接した地域で、北は軽井沢の鼻曲山から碓氷峠、八風山、佐久市の内山峠、荒船山、兜岩山、そして南佐久の田口峠、十石峠、^{モライサン}茂来山、^オ御座山、三国峠、十文字峠を経て甲武信岳、金峰山に至っている。

この地域は佐久平の中央部を南北に流れる千曲川の東の地区で標高1000m～1200mぐらいまでは集落や耕地が主になっていて、それより奥の地域が山林となっているが亜高山帯を除けば、その大部分が、コナラ、ミズナラなどを主とする落葉広葉樹林が植林されたカラマツ林で占められている。

また地史的に見ると、「千曲川以東の川東地域の地質は、秩父古生層、中生層を主とする基盤岩類と、第三紀層、第四紀層、火山岩類などこれを被う被覆層群と、主に基盤岩類に底盤として貫入した花崗岩、石英閃緑岩などの深成岩類の三つに大別される。

基盤岩類の秩父古生層と中生層とは関東山地の帯状構造をなすもので、数回交互に繰返して分布し、それらの境はすべて断層で接している。」(南佐久郡地質誌より)という地域であり、その植物分布を見ると暖帯地域系植物、裏日本系植物、フォッサ・マグナ地域系植物、関東地域系植物など種々の分布要素の植物が入り混じって分布し、佐久の中でも、また長野県下の植物分布から見ても、その特色ある分布は大変興味深いものがあり注目すべき地域である。

そこで、今回はこの佐久東部山地に分布する植物の中から長野県内でこの地域だけに分布するもの、県内では比較的分布地域の少ないもの、そして佐久ではこの地域に限られて分布し珍しいものなどについて記してみたい。

2. 長野県内で佐久東部山地だけに分布する植物

シライヤナギ	荒船山、御座山などに分布
チチブミネバリ	川上村梓白岩に分布
ジゾウカンバ	荒船山、梓白岩に分布
ミョウギシャジン	梓白岩に分布
カイフウロ	梓白岩、物見山に分布
ナンブワチガイソウ	



カイフウロ。川上村梓白岩付近と佐久市物見岩に分布。1960年、花里弘氏採集。

1986年5月、花里弘氏によって川上村住吉神社境内で発見された。昨年富士見でも発見された(奥山、レポート日本の植物30号、1986)。

ハコネコメツツジ 御座山～金峰山に分布
「長野県植物ハンドブック」(横内文人'84)には県下各地に記録されているが、佐久以外は疑問としているし、「長野県植物誌チェックリスト」('84)にも佐久以外に標本も記録もないので佐久だけと考えられる。

シナノアキギリ 主として東部山地に分布
千曲川以西の松原湖畔で発見された植物で布引などにも見られるが主には東部山地に分布。

3. 長野県内で分布地域の少ない植物

植物名	県内での分布(佐久以外)
ミヤマウラジロ	小県(東部町)
ヒメウラジロ	小県(東部町)
ツルカノコソウ	下伊
オオイワインチン	上水(戸隠)
アブラツツジ	下伊、上伊
トウゴクサバノオ	下伊、上伊
ヤワタソウ	下伊、木曽
コイワザクラ	
キバナウツギ	下伊、上伊

ヒロハシモツケ	更埴
チチブヤナギ	諏訪
チチブヒョウタンボク	東筑（美ヶ原）
サンヨウブシ	下伊、木曽
オオコガネネコノメ	上伊、木曽
アカジクヘビノボラズ	下伊、諏訪
アズサバラモミ	上伊 諏訪
ヤマナシウマノミツバ	諏訪 小県
（佐久では主として東部山地に分布）	
ハナヒョウタンボク	諏訪 小県
（佐久では主として東部山地に分布）	
オニヒョウタンボク	小県 南安
アカメガシワ	下伊 木曽
ヒメマツカサススキ	下伊 諏訪 下水
イチゲフウロ	南安（上高地）
ピランジ	下伊 上伊 木曽 諏訪
オオピランジ	下伊 上伊 諏訪
クモナズナ	下伊 諏訪 北安
（佐久では八ヶ岳にもあるが兜岩山に多い）	
モリイバラ	下伊 上伊 諏訪
イラモミ（マツハダ）	下伊 上伊 諏訪 東筑
チョウセンナニワズ	下伊 上伊 諏訪
ツクシハギ	下伊 上伊 木曽 更埴
タカネマコナ	上伊 諏訪
（佐久では八ヶ岳にもあるが東部山地に多い）	
ヤハズハハコ	下伊 上伊 諏訪
トダイハハコ	下伊 上伊 諏訪
ノリクライチゴ	下伊 諏訪 南安
ノハラクサフジ	下伊 上伊 東筑
ヤマブキソウ	諏訪 下水 下高
チチブシロカネソウ	上伊 木曽 諏訪 東筑
クロバナウマノミツバ	上伊 諏訪 南安 下高
オオバイノモトソウ	下伊 木曽 諏訪 北安
ホソエノアザミ	下伊 諏訪 東筑
キンレイカ	下伊 上伊 諏訪 南安
ナツツバキ	下伊 上伊 諏訪 木曽
メツクバネウツギ	下伊 上伊 木曽 南安
ニッコウヒョウタンボク	下伊 上伊 木曽 諏訪
（蓼科山の記録があるが主として東部山地）	
ケミヤマタニタデ	上伊 諏訪 小県 上水
ハヤザキヒョウタンボク	上伊 諏訪 東筑
アセビ	下伊 上伊 木曽

4. 長野県内各地に分布するが佐久では東部山地に限って分布、または主として東部山地に分布する植物

ヒメレンゲ	ハシドイ
-------	------

ヒメノキシノブ	ハコネギク
ヤシャゼンマイ	ナガバノコウヤボウキ
ヒメイトラノオ	ミツバツツジ
ヤマヒメワラビ	アカヤシオ
イノモトソウ	バイカツツジ
ハコネシダ	ユリワサビ
フジシダ	ヒメゴヨウイチゴ
イワウサギシダ	ヒメタケシマラン
ヤマグルマ	シオジ
ベニバナツクバネウツギ	オオキツネヤナギ
オオバアサガラ	ハナウド
ヒメミヤマウズラ	ユクノキ
レンゲショウマ（群生地が多い）	
アズマハンショウヅル	アズマシャクナゲ
ヒメスミレサイシン	トガクシデンダ
アオチャセンシダ	ジャコウソウ
ホテイシダ	ギンバイソウ

5. その他

シロバナノハラクサフジ

県内他地区に分布するかどうか明らかなでないが、佐久市内山峠に分布する。

オオバマンサク

県下で木曽と佐久に記録されている（県植物誌チェックリスト）が、佐久に分布するものが、オオバマンサクとマンサクの両種があるのかどうか筆者には確認できていない。

6. おわりに

以上、佐久東部山地の植物について分布ニュースとして植物名を列記したに過ぎないが、県下での分布の中でそれを見ると、

- ・下伊那、上伊那、諏訪、木曽などに限られて分布している種が佐久のこの地域に目立って多いこと。

- ・県下でこの地域だけに分布する種が目立つことなどが上げられる。今後は、この地域の植物分布をさらに詳細に調査し、その起因するところの考察を進めていきたい。

参 考 文 献

長野県植物研究会（1984）長野県植物誌チェックリスト
横内文人（1984）長野県植物ハンドブック
諏訪教育会（1981）諏訪の自然誌 植物編